(1)
支那事変重要記録寫

0002

REEL No. A-0211

0007

アジア歴史資料センター

A1.1.0.30

大東亜戦争記録写

103

0003

S 1.1.1.0 - 27

REEL No. A-0211

0008

アジア歴史資料センター

S 11.1.1.0 - 27

支那事變關係重要記錄

（第一部）

帝國政府聲明（昭和十二年八月十五日午前一時十分發表）

支那事變對處要綱（昭和十二年十月一日總理外陸海大臣決定）

事變對處要綱（甲）（昭和十二年十二月二十四日閣議決定）

支那事變處理根本方針（御前會議議題）ニ關スル件

支那事變解決處理方針案（別紙）（昭和十三年一月十日東亞第一號）（昭和十二年十二月一日軍務局）

支那事變處理根本方針（御前會議議題）（別紙第二號）

支那事變處理根本方針（御前會議議題）（別紙第三號）

支那事變處理根本方針（御前會議議題）（別紙第四號）

支那事變處理根本方針（御前會議議題）（昭和十三年一月十一日御前會議決定）（別紙第五號（甲））

支那事變處理根本方針（別紙第五號（乙））（昭和十三年一月十一日御前會議決定）

御前會議ニ於テ大本營陸軍部ヨリ報告（別紙第五號（丙））

軍令部總長宮殿下御口述覺（別紙第五號（丁））

御前會議ニ於ケル意見陳述ノ要旨（平沼樞密院議長）（別紙第五號（戊））

S 11.1.1.0 - 27

○帝國政府聲明（蔣氏政府ニ對シ本ニセズ）（昭和十三年一月十六日）

北支政務指導要綱（昭和十三年一月）

獨逸政府ヲ仲介トスル日支和平交渉經緯（昭和十三年一月二十日外務省）

北支及中支政權關係調査要領（昭和十三年四月十六日閣議決定）

帝國政府聲明（昭和十三年六月十三日）

今後ノ支那事變指導方針（昭和十三年六月二十四日五相會議決定）

支那現中央政府屈伏ノ場合ノ對策（昭和十三年七月八日五相會議決定）

屈伏セザル場合ノ對策（昭和十三年七月八日五相會議決定）

差當リ對英外交方針（昭和十三年七月十二日五相會議決定）

同時ニ伴フ對支謀略ノ對策

同上訂正事項

英獨大使ノ和平斡旋申込ニ對スル態度（昭和十三年七月十二日五相會議決定）

支那新中央政府樹立指導方策（昭和十三年七月十五日五相會議決定）

支那政權內面指導大綱（昭和十三年七月十九日五相會議決定）

昭和十三年七月二十二日五相會議決定（一部修正）

聯合委員會樹立要綱（昭和十三年九月九日五相會議決定）

帝國政府聲明（昭和十三年十一月三日）

日支新關係調整方針ニ付御前會議ニ關スル件（昭和十三年十一月二十八日二相會議決定）

日支新關係調整要綱ニ關スル御前會議次第（昭和十三年十二月三十日）

REEL No. A-0211

0003

アジア歴史資料センター

近衛声明

日支新關係調整方針（昭和十三年十一月三十日御前會議決定）
近衛内閣處理大臣談（昭和十三年十二月二十二日）

（第五部）

中支政務指導方案　昭和十三、二、二十七　一應ノ確定案
蒙疆處理要綱（本案ハ新政權樹立當初若干期間ニ及ブ）
蒙疆統一政權設立要綱　昭十四、七、二八　興亞院會談決定
〃　〃　八、四　閣議決定

（第六部）

渡邊工作（第二期計畫）　昭十四、二、二
渡邊工作時局收捨ノ具體辨法　〃　三、三
時局收捨具體辨法ニ對スル所見　昭十四、三、三
影佐渡邊會談報告　昭十四、二、二八
渡邊工作現地報告　昭十四、五、一五
新中央政府樹立方針　昭十四、六、六　五相會議決定
中國側ノ提出セル時局收捨ニ關スル具體的辨法及日本側意見　昭十四、六、一六　五相會議諒解
中國主權尊重原則實行案ニ關スル中國側希望及之ニ對スル日本側回答要旨　昭十四、七、三　興亞院政務委員會決定
中央政治會談指導要領　昭十四、七、三十　同　上
右ニ關スル諒解事項　昭十四、七、三〇　同　上

0006

中央政權樹立ニ關スル申合　昭一四、一二、八　興亞院會議決定
中央政權樹立要綱　昭一五、一、六　興亞院會議決定
日支新國交調整要綱　昭一五、一、八　興亞院
日支新條約ニ關スル件　昭一五、三、一九　興亞院會議決定
帝國政府聲明　昭一五、三、三〇

0007

REEL No. A-0211
0010
アジア歴史資料センター

帝國政府聲明

（昭和十二年七月十一日夕刻發表）

相隣ク支那側ノ侮日行爲ニ對シ支那駐屯軍ハ隱忍靜觀中ノ處從來我ト提携シテ北支ノ治安ニ任シアリシ第二十九軍ノ七月七日夜半蘆溝橋附近ニ於ケル不法射擊ニ端ヲ發シ該軍ト衝突ノ已ムナキニ至レリ爲ニ平津方面ノ情勢逼迫シ我在留民ハ正ニ危殆ニ瀕スルニ至リシモ我方ハ和平解決ノ望ヲ棄テス事件不擴大ノ方針ニ基キ局地的解決ニ努力シ一旦第二十九軍側ニ於テ和平的解決ヲ承諾シタルニ不拘突如七月十日夜ニ至リ彼ハ不法ニモ更ニ我ヲ攻擊シ再ヒ我軍ニ相當ノ死傷ヲ生スルニ至ラシメ而モ瀕ニ第一線ノ兵力ヲ增加シ更ニ西苑ノ部隊ヲ南進セシメ中央軍ニ出動ヲ命スル等武力的準備ヲ進ムルト共ニ平和的交涉ニ應スルノ誠意ナク遂ニ北平ニ於ケル交涉ヲ全面的ニ拒否スルニ至レリ以上ノ事實ニ徵ミ今次事件ハ全ク支那側ノ計畫的武力抗日ナルコト最早疑ノ餘地ナシ

思フニ北支治安ノ維持カ帝國及滿洲國ニトリ緊急ノ事タルハ玆ニ贅言ヲ要セサル處ニシテ支那側カ不法行爲ハ勿論支那側ノ排日侮日行爲ニ對スル謝罪ヲ爲シ及今後カカル行爲ナカラシムル爲ノ適當ナル保障等ヲ爲スコトハ東亞ノ平和維持上極メテ緊要ナリ

仍テ政府ハ本日ノ閣議ニ於テ重大決意ヲ爲シ北支出兵ニ關シ政府トシテ執ルヘキ所要ノ措置ヲナス事ニ決セリ

帝國ノ常ニ願念スル所ナルヲ以テ政府

ハ今後共局面不擴大ノ爲平和的折衝ノ望ヲ捨テス支那側ノ速カナル反省ニ依リテ事態ノ圓滿ナル解決ヲ希望ス又列國權益ノ保全ニ就テハ固ヨリ十分之ヲ考慮セントスルモノナリ

REEL No. A-0211

0011

アジア歴史資料センター

帝國政府聲明

（昭和十二年七月二十七日午後書記官長談）

北支ノ安寧ハ帝國ノ常ニ至大ノ關心ヲ有スル所ナリ。然ルニ支那側ノ徹底セル排日抗日政策ハ屢々北支ノ平和ヲ脅威シ遂ニ蘆溝橋事件ノ勃發ヲ見ルニ至レリ。爾來帝國ハ東亞平和ノ爲事件不擴大、現地解決ヲ方針トシテ平和的處理ニ努メ、冀察側ニ對シ支那軍ノ蘆溝橋附近永定河左岸駐屯ノ停止、將來ニ關スル所要ノ保障、直接實任者ノ處罰及謝罪ノ極メテ寛大且局地的ナル條件ヲ要求シタルニ過ギズ。冀察側ハ七月十一日南京政府ニ對シ、アラユル挑戰的ノ言動ヲ即時停止シ且現地解決ヲ妨害セザル樣注意ヲ喚起シタルニ、南京政府ハ現實ノ事態ヲ無視シ帝國政府ノ主張ヲ容レズ、然レドモ帝國ハ尚隱忍自重、平和的解決ニ努力中支那側ハ七月二十六日廊坊居留民保護ノ爲冀察側ニ對シ突如城門ヲ閉鎖シ不意ニ急射スルノ暴擧ニ出デタリ。天津駐屯ノ我部隊ハ北平城內ニ入城中途ノ我部隊ニ對シ兩軍間ノ交通線ノ確保ニ關シ任務及居留民ノ保護ノ爲修理ニ任ズル旨ノ諒解ヲ得テ不法射擊ヲ加ヘ、更ニ同日夕居留民ノ保護ノ爲修理ニ任ズル旨ノ諒解ヲ得テ北平城內ニ入城中途ノ我部隊ニ對シ右兩軍間ノ交通線ノ確保及居留民ノ保護ノ爲武力ヲ以テ妨害シタルモノナリ。

0010

已ムナキニ至レリ。帝國ノ期スル所ハ、今次事件ノ如キ不祥事發生ノ根因ヲ亞除スルニ在リテ善良ナル民衆ヲ敵視スル等ノ偏見ヲ有セズ、且列國ノ權益保護ニハ最善ノ努力ヲ惜シマザルコト勿論ナリ。

東亞ノ平和確保ヲ使命トスル帝國ハ茲ニ至ルモ今尙支那側ノ反省ニ依リ局面ヲ最小ノ範圍ニ限定シ、速ニ圓滿ナル解決ヲ見ンコトヲ切望スルモノナリ。

（昭和十二年八月十五日午前二時十分發表）

帝國政府聲明

帝國夙ニ東亞永遠ノ平和ヲ冀念シ、日支兩國ノ親善提携ニ力ヲ效セルコト久シキニ及ベリ。然ルニ南京政府ハ排日抗日ヲ以テ國論昂揚ト政權强化ノ具ニ供シ、自國國力ノ過信ト帝國ノ實力輕視ノ風潮相俟チ更ニ赤化勢力ト苟合シテ反日侮日愈々甚シキヲ以テ帝國ニ敵對セントスル氣運ヲ醸成セリ。近年幾度カ惹起セル不祥事件ト何レモ之ニ因由セザルナシ。今次事變ノ發端モ亦此ノ如キ氣勢ガ其ノ爆發點ヲ偶々永定河畔ニ選ビタルニ過ギズ。通州ニ於ケル神人共ニ許サザル殘虐事件ノ報ニ接シ亦茲ニ發ス。更ニ中南支ニ於テハ帝國臣民ノ生命財產既ニ危殆ニ瀕シ、支那側ノ挑戰的行動ニ對シ帝國臣民ハ多年營々トシテ建設セル安住ノ地ヲ涙ヲ呑ンデ遂ニ一切我居留民ハ撤退スルノ已ムナキニ至レリ。

0011

REEL No. A-0211

0012

アジア歴史資料センター

顧ミレバ事變發生以來屢々聲明シタル如ク、帝國ハ隱忍ニ隱忍ヲ重ネ事件ノ不擴大ヲ方針トシ、努メテ平和的且局地的ニ處理セントコトヲ企圖シ、平津地方ニ於ケル支那駐屯軍ハ交通線ノ確保及我カ居留民保護ノ爲ニ、眞ニ已ムヲ得ザル自衛行動ニ出デタルニ過ギズ。而モ帝國政府ハ現地解決ヲ妨害セザル樣注意ヲ喚起シタルニ對シテ、南京政府ハ即時停止ト言動ヲ以テ挑戰的態度ニ出ヅルノミナラズ、却テ益々我方ニ對シ戰備ヲ整ヘ、我カ勸告ヲ聽カズ、嚴存ノ軍事協定ヲ破リテ顧ミルコトナク、軍ヲ北上セシメテ我カ支那駐屯軍ヲ脅威シ、又漢口上海其他ニ於テハ兵ヲ集メテ愈々挑戰的態度ヲ露骨ニ爆發シ、上海ニ於テハ遂ニ我ニ向ツテ砲火ヲ開キ、帝國軍艦ニ對シテ如ク支那側カ帝國ヲ輕侮シ不法暴虐至ラザルナク、帝國トシテハ最早我カ居留民ノ生命財產危殆ニ陷ルニ及ンデハ、帝國ハ隱忍其ノ限度ニ對シ、支那軍ノ暴戾ヲ膺懲シ以テ南京政府ノ反省ヲ促ス爲今ヤ斷乎タル措置ヲ取ルノ念願シ日支然レドモ共存共榮ヲ期望スル所ナリ。然レドモ帝國ノ庶幾スル所ハ日支兩國ノ融和事變ノ如キニ在リ。之ガ爲支那ノ根因ヲ芟除スル排外抗日運動ヲ根絶シ今次事變ノ提携ニ在リ。此ノ如キハ東洋平和ヲ念願シ日支共榮ノ途ヲ開キ、東洋ノ平和ヲ確保シ、以テ世界ノ平和ヲ增進スルコトハ、帝國ノ不動ノ國是ナリ。

提携ノ實ヲ擧ゲントスル外、他意ナク、固ヨリ毫末モ領土的意圖ヲ有スルモノニアラズ。抗日ニ關シ、又支那國民ニ對シ、一般大衆ニ對シテハ何等敵意ヲ有スルモノニアラズ且列國權益ノ尊重ニハ最善ノ努力ヲ惜ミザルベキハ言ヲ俟タザル所ナリ。

REEL No. A-0211
0013
アジア歴史資料センター

一 本對處要綱ハ十月一日總理、外、陸、海四大臣間ニ決定セラレ同日總理大臣之ヲ內奏セルモノトス

二 本對處要綱ハ支那中央政府カ政府トシテノ機能ヲ備ヘ我ニ和平ヲ提言スル場合ノモノヲ示シ、然ラサル場合ノ對處要綱ハ別途ニ定メラルヘキモノトス

支那事變對處要綱

總則

一 一般方針

今次事變ハ、軍事行動ノ成果ト、外交措置ノ機宜トヲ、兩々相俟チ、成ルヘク速ニ、之ヲ終結セシメ、支那ヲシテ抗日政策及容共政策ヲ解消セシメ、眞ニ明澄且ツ恒久的ナル國交ヲ、日支間ニ樹立シ、以テ、日滿支ノ融和共榮ノ實現ヲ期スルヲ、本旨トス

二 軍事行動

軍事行動ハ、支那ヲシテ速ニ戰意ヲ拋棄セシムルヲ目途トシ、兵力ノ行使、要地ノ占據、及之ニ伴フ必要ナル諸工作等、適時適切ナル手段ヲ執ルモノトス。

長期兵力行使ニ堪ユル爲メ、之ニ關スル所要ノ處置ヲ講ス。

情勢ニ依リ、

0014-1

三 外交措置

外交措置ハ、速ニ支那ノ反省ヲ促シ、我方ノ所期スル境地ニ、支那ヲ誘致スルヲ目途トシ、支那及第三國ニ對シ、機宜ノ折衝及工作ヲナス。事變ノ終結ニ方リテハ、支那ヲシテ、抗日政策及容共政策ヲ解消セシメ、從來ノ行懸ニ捉ハレサル、劃期的國交調整條件ヲ以テ、外交交渉ヲ行フ。

四 軍事、外交、及之ニ伴フ諸施策ハ、國際法上許サルヘキ範圍ヲ逸脫セサル樣、愼重實行ス。

0014-2

REEL No. A-0211

0014

アジア歴史資料センター

一、兵力行使準則

(1)陸上兵力行使の主要地域ハ、概ネ冀察及上海方面トス。

(2)所要地域ニ對シ、海上並ニ航空作戰ヲ行フ。

二、國家總力ノ整備

作戰ノ遂行ヲ圓滑ナラシムル合ニ應スル爲、總動員ノ實施、戰時法令ノ制定、耐久的擧國一致ノ具現等、所要ニ應シ、國家諸般ノ運營ヲ之ニ適合セシム。

三、北支對策

北支問題ノ解決ハ、日滿支三國ノ共存共榮ヲ實現スルヲ目途トシ、支那中央政府ノ下ニ、眞ニ北支ヲ明朗ナラシムルヲ以テ本旨トス。

四、中南支對策

中南支ハ、日支通商貿易ノ增進及發展ノ永續ニ適スル情態ヲ、此處ニ出現セシムルコトヲ期ス。

五、北支作戰後方地域ニ對スル措置

事變中、北支作戰後方地域ニ對スル措置ハ、敵國領土占領ノ觀念ヨリ脫却シ、概ネ左ノ如ク律ス。但治安ハ、軍ノ指導ニヨリ、之ヲ確立ス。

(一)占領地行政ハ之ヲ行ハス。

0015

(二)政治機關ハ、現地住民ノ自主的組成ニ委ス。但之ヲ指導シ、明朗ナル施政ヲナサシム。

(三)經濟上必要ナル交通施設及資源ノ開發ハ、必要ナル統制下ニ之ヲ行フ。

(四)及(三)ハ、和局出現後ノ國交調整ニ、影響セシムルコト以上ナシ。

六、對外通商並經濟財政關係

日支及第三國間ノ、通商並ニ經濟財政事項ニ關シテハ、支那ヲシテ、戰意ヲ拋棄セシムル主眼トシ、之ヲ律ス

七、對第三國關係

第三國ニ對スル、外交指置並ニ之ニ伴フ諸工作ハ、進テ我ニ好意ヲ持タシムルト共ニ、第三國トノ紛爭ヲ釀シ、又ハ其ノ干涉ヲ誘發スルコトナキ樣、之ヲ施策ス。軍事行動及之ニ伴フ諸工作モ亦、右ノ主旨ニ則リ愼重施行ス。

八、居留民ニ對スル處置

九、關係諸項ニ對スル具體的方策

前記諸項ノ具體的方策ハ、別ニ之ヲ定ム。

0015

REEL No. A-0211

0015

アジア歴史資料センター

事變勃發以來帝國政府ハ南京政府ニ於テ速ニ其ノ抗日容共政策ヲ棄テ帝國ト提携シテ東亞ノ安定ニ寄與セントスル意向ヲ明ニシ同政府ニ於テ反省スルニ於テハ之ト共ニ時局ノ收拾ヲ計ル用意モアリシモ南京政府トノ交渉ハ成立ノ期待セラレサルニ至レリ

右ノ趨勢ニ鑑ミ今後ハ北支ニ於テハ北支ノ特殊性ニ即シ日滿政策ノ主眼トスル北支ノ安寧福利ノ增進ニ以テ東亞ノ新秩序ノ建設ニ寄與スル方針ニ關シ

北支ニ於テハ防共親日滿政權ノ成立ヲ目途トシ之カ促進ヲ計リ漸次本政權ヲ獨立ニ化シ可分ノ關係ニ至ラシムル如ク指導スヘキ政權ハ右ノ趨旨ニ適當ノ機會ニ之ヲ中外ニ闡明ス

事變對處要綱（甲）

昭和一二一二二四

閣議決定

廣汎トナリ全面的ニ之カ處理ヲ行フヲ要アルトキハ別個ニ時局ノ收拾ヲ計ルヲ必要トスルモ南京政府トノ交渉ヲ成立ノ期待セラレサルニ至レリ

場合ニ對處スルヲ爲ト他方我軍事行動ノ進展ニ伴ヒ帝國ノ占據區域ニ於テハ之ト共ニ時局ノ收拾ヲ計ルヲ以テ

モ、同政府ニシテ抵抗ラ標榜シ毫モ反省ノ色ヲ示ササルニ於テハ之ト共ニ時局ノ收拾ヲ計ルヲ以テ

同政府ニ於テ反省スルニ於テハ之ト共ニ時局ノ收拾ヲ計ルヲ以テ

抗ニ對應スル爲北支及中支方面ニ於テハ左記方針ニ依リ指令スル

甲、政治指導方針

(一) 北支新政權ハ單ニ北支ノミナラス中南支方面ノ信望ヲ收メ得ルカ如キモノタラシムルコトヲ肝要ニシテ之カ爲ニハ(イ)右政權ノ首腦者ハ支那全國ニ信望ヲ有スル人材ヲ網羅スルコト(ロ)右政權ノ政權ハ新時代ニ適應スル組織ヲ備ヘ(ハ)全支ニ呼ヒ掛ケルカ如キ(ニ)右政權ニ對スル我方ノ指導ハ人納ニ關スル王道主義ヲ持シ(ホ)日系官吏等ヲ配シ行政ノ細部ニ亘ル迄指導ニ止メ日本ノ內面指導ハサルコトヲ方針トシテ指導スルモノトス

(二) 北支新政權ニ包含セラルヘキ地域ハ軍事行動進展ノ程度ニ依リ北支那ノ一部トス

ルヘキモ略河北、山東、山西ノ三省及察哈爾省ノ一部トス

東自治政府ハ之ヲ解消シ新政權ニ合流セシムルモノトス

又蒙古自治政權ハ密接ナル關係ヲ保持セシムル如ク指導スルモノト

(三) 差當リ第三國トノ紛糾ヲ避クル爲租界ニハ手ヲ觸レサルコトトスヘキモ租界外ニ於テハ新政權樹立以前ト雖モ郵政、電政、稅務、鹽政等ノ行政組織ヲ完備セシムル如ク指導スルモノト

乙、經濟開發方針ハ別ニ考慮ス

(一) 北支經濟開發ノ目標ハ日滿經濟ノ綜合的關係ヲ補強シ以テ日

海運ニ付テハ別ニ考慮ス

REEL No. A-0211
0016
アジア歴史資料センター

滿支提携共榮實現ノ基礎ヲ確立スルニ在リ

之カ爲支那現地資本並我方ノ資本及技術ヲ緊密ニ結合セシメテ經濟各部門ヲ開發整備シ以テ秩序ノ維持民衆生活ノ安定ヲ圖リ併セテ日滿兩國ニ亙ル我廣義國防生産力ノ強充ニ資スルモノトス

而シテ開發實施ニ際シテハ日滿及北支ノ國際收支ノ適合及物資需給ノ調節ヲ尊重シ緩急ヲ誤ラサル樣措置スルト共ニ努メテ支那側ヲ表面ニ立テ經濟的壓迫ヲ與フルカ如キ感ヲ拘カシメサル如クシ且我全國民ノ期待ニ反セサル適切ナル國策的運營ニ重點ヲ置クモノトス

(二)

北支經濟開發及統制ノ爲一國策會社ヲ設立スルモノトシ擧國一致ノ精神ト全國産業動員ノ趣旨ヲ具現スルカ如ク之ヲ組織スルモノトス

主要交通運輸事業（港灣及道路ヲ含ム）、主要通信事業、主要發送電事業、主要鑛産事業、鹽業及鹽利用工業等ニ關スル重要産業ハ右會社ヲシテ之カ開發經營又ハ調整ニ當ラシムルモノトス

右會社ノ運營ニ就テハ日滿兩國ノ重要産業計畫ニ即應スルト共ニ常ニ我國ノ實情ニ鑑ミ緩急宜シキヲ制スル事ニ意ヲ用フヘキモノトス

右重要産業以外ノ事業ハ特別ノ事由アル場合ノ外特別ナル統制ヲ加ヘサルモノトス

(三)

北支經濟開發ニ當リテハ支那側資本ノ利用ニ努ムルト共ニ支那側企業トノ協議ヲ圖ルモノトス

(四)

北支經濟開發ニ對スル第三國ノ協調的技資ハ之ヲ認ムルモノトス

北支ニ於ケル列國ノ既存經濟權益ハ事情ノ許ス限リ之ヲ尊重スルモノトス

(五)

日滿北支貿易關係ノ緊密化ヲ圖ルト共ニ北支對第三國貿易ノ適切ナル調整ヲ行フモノトス

(六)

現地政權ヲシテ農業ノ改善、治水及利水、植林、合作社等ニ關シ逐次所要ノ施設ヲ爲サシムルモノトス

(七)

北支ニ於ケル既存事業ニシテ重要産業ニ關スルモノハ本方針ニ從ヒ之ヲ整理又ハ調整スルモノトス

(八)

差當リ直チニ着手シ得ル事業ニ付テハ將來本方針ニ基ク整理又ハ調整ヲ條件トシテ速ニ之ヲ開始スル樣措置スルモノトス

(九)

北支經濟開發ニ關スル交渉ノ相手方ハ差當リ中華民國臨時政府治安維持會若クハ其ノ聯合會又ハ局地政權トス

REEL No. A-0211

0017

アジア歴史資料センター

二、上海方面處理方針

(一) 軍の占據區域には樞要の地を考慮するも當分の間治安維持に當らしむ

(二) 租界及租界周邊に對する方策は別に之を定む

甲、行政

(一) 租界周邊に就ては將來に於ける租界周邊の發展に協力し且つ租界の安全保障組織の確立をも考慮し左記要領に依り之を處理す

(イ) 租界の周邊即ち租界及越界道路を除く大上海市管轄區域を特別市とす

(ロ) 特別市の行政は支那人市長之を管掌す

(ハ) 特別市には市長を輔佐して一般行政を指導せしむべき顧問を置く

(ニ) 特別市の警察行政を行ふ爲特別警察部を設置す警察部長以下凡て支那人とするも、長と協力する爲相當數の邦人顧問の權限は別に之を定む

(ホ) 特別市の警察行政を行ふ爲特別警察部を設置す警察部長以下凡て支那人とするも、長と協力する爲相當數の邦人顧問の權限は別に之を定む

尚必要に臨じ外國人顧問の採用をも考慮す

支那人警察官の數及武裝は別に之を定む

REEL No. A-0211

0018

アジア歴史資料センター

(四) 特別市の財政は舊上海市に於て徵收の諸稅の外特別市範圍内に於ける稅制、電政、郵政等舊南京政府直轄各機關の接收又は新設に依り得らるべき特別入を以て之を維持す

(五) 將來(中支新政權樹立の場合を豫想す)特別市全部を開港市とし外國人の居住營業並に土地に關する懸案解決を期す(差當りは邦人土地に關する帝國の經濟的權益設定等)

乙、帝國の經濟的發展の基礎を確立し上海を據點とし中支方面に對する帝國の經濟的發展の基礎を確立するを目標とし其の具體的方策の一として左の通り措置するものとす

(一) 租界の周邊(租界及越界道路を除く大上海市管轄區域)を特別市とし右特別市内に於ける電話、電力、電燈、水道、瓦斯、電車、バス等公共的性質を有する諸事業の實權を我方に把握し之を經營すると共に下記各項に滿蹄する事業の經營又は調整に當らしむる爲國策會社の熱模及事業着手の順序等に就ては我國の實情及右國策會社の參酌し別に之を定むるものとす

現地情勢を參酌し別に之を定むるものとすれば其の目的上支障なき限り現地資本に付ては其の利用を圖るものとす

尙特別市及租界内邦人中小企業家に對する資金融通及邦人の租界内不動産取得に對する資金融通等に付ては可及的速に別途考慮するものとす

(一) 特別市内に於ける警察權は總領事館警察の管轄とす

(二) 行政上必要あるものは之を使用せしむ但し特別市當局に於て方に於て接收し適宜利用するものとす

(三) 上海附近本邦各地北支、滿洲國間等との通信運輸、航空の聯絡基地とし貨、出來得る限り特別市地域を利用するものとす

(イ) 適當なる汽船會社等をして虬江碼頭招商局碼頭等を利用せしむ

(ロ) 將來上海方面に於ける有線無線(放送を含む)通信權の實質的獲得に必要なる諸施設を管理運用す

(ハ) 上海幅岡遠絡飛行基地として龍華飛行場を管理運用す尙虹橋及遠東飛行場の管理權を獲得し將來日支航空連絡に對する實質的權益の設定に資す

(四) 特別市地域に大市場を建設し租界に對する鳥類、野菜等の生活必需品の供給を爲さしむるもの(差當り上海市)とし尙小型船の自由入港を認めしむ

(五) 魚市場等の利用を考慮し尙小型船の自由入港を認めしむ

(六) 差當り直に着手し得る事業に付ては國策會社成立の際適宜整

REEL No. A-0211
0019
アジア歴史資料センター

理又は調整するを條件として速に之を開始する機措置するものとす

(四)本經濟的權益設定に關する交渉の相手方は差當り治安維持會又は同地政權とす

北支處理方針乙、經濟開發方針ニ對スル

閣議諒解事項(一)

一、主要交通運輸事業、主要通信事業ニ付テハ滿支ヲ通スル一會社ノ一元經營ハ之ヲ認メサルコト

二、北支政權の財政強化ニ努メ以テ北支ニ於ケル公共事業其他ノ開發諸事業ニ寄與セシムルコト

三、北支對第三國國際收支の維持改善ヲ圖ル爲有效適切ナル方策ヲ講スルコト

四、北支ニ於ケル產金事業ハ我國國際收支ノ觀點ヨリ特ニ速カニ着手セシムルコトトシ今後ニ於ケル調整ニ際シテモ此ノ事情ヲ考慮スルコト

五、北支ニ於ケル經濟開發殊ニ鑛工業開發ノ計畫ヲ樹ツルニ當リテハ內地產業ノ實情ニ考慮ヲ拂ヒ且事情ノ許ス限リ內地ニ於ケル當該企業ノ技術、經驗及資本ヲ利用スル樣措置スルコト

閣議諒解事項(二)

日滿支ノ交通、通信ノ圓滑ナル連絡ニ資スル爲北支ニ於ケル交通、通信事業ヲ經營スル機關ハ滿鐵竝滿洲電電會社ト常ニ緊密ナル關係ヲ保持セシムル樣措置シ尙滿鐵竝電電社員ノ大陸ニ於ケル活動ノ適性竝ニ今次事變ニ於ケル活動ノ實狀ニ鑑ミ交通、通信事業ノ經營ニ際シテハ之等ノ人員技術經驗等ヲ充分活用スルノ方針ヲ執ル

REEL No. A-0211
0020
アジア歴史資料センター

上海周邊處理方針乙、帝國ノ經濟的權益設定策ニ
右國策會社ニ對シ特別市ニ於ケル軍ノ管理スル土地其他我方ノ管
理下ニアル土地ニ關スル經營等ノ諸事業ヲモ必要ニ應シ之ヲ行ハ
シムルコトヲ得

支那事變處理根本方針（御前會議議題）ニ關スル件（昭和一三、一一〇東亜一）

陸軍側ヨリ別紙第一號支那事變解決處理方針案（一三、一一、一一）ヲ三省間ニ於テ審議ノ上御前會議ニ於テ決定シ度キ旨提案アリタルカ外、海軍務當局ニ於テハ支那事變處理ニ關シテハ既ニ根本方針トシテ對處要綱アリ更ニ和戰兩樣ノ備ヘトシテ事變對處要綱(甲)成立シ又蔣介石トノ和平解決ノ場合ノ條件ハ在京獨逸大使ニ對スル回答ノ際一切ノ審議ヲ完了シ居ル次第ニ付右ノ外ニ更ニ改メテ策案ノ必要ナカルヘシトノ趣旨ニテ其ノ儘ニ放置シ置キタリ

二、然ルニ參謀本部側ニ於テハ平和交渉ニ關スル對獨回答實行後講和條件ハ甚タシク侵略的ニシテ日支國交ノ將來ヲ誤ラシムヘキモノナルニ付此ノ際御前會議ヲ開キ日支國交再建ノ根本方針ヲ確立シ置キ動モスレハ侵略的ニ傾カントスル國內趨勢ニ對シ豫メ豫防方策ヲ講シ置ク必要アリトノ意向漸次強クナリ直接參謀本部側ヨリ陸、海、外三省事務當局會議ニ出席シ此ノ精神ヲ說明スル所アリタリ仍テ外、海共陸軍側ノ右ノ如キ大乘的考トナリタルハ洵ニ結構ニ付前項ノ如キ事情ハアルモ此ノ際右精神ヲ活カシ置ク爲參謀本部ノ提案通リ御前會議議題ヲ終ルコトモ徒爾ニ非サルヘシトノ意見トナリ結局別紙第二號御前會議議題ヲ三省事務當局間ニ於テ作成シ各々三省上司ノ同意ヲ得タリ

REEL No. A-0211
0021
アジア歴史資料センター

一 仍テ一月九日午前十時ヨリ政府大本營連絡會議ヲ開催シ右議題ヲ提案シ東亞局長ヨリ趣旨ノ説明アリ審議ノ結果別紙第三號ノ通リ修正セラレタルカ更ニ同日午後閣議ヲ開キ三省提案ノ議題中日支國交再建ニ關スル「イデイオロギー」的部分ヲ削除シタル別紙第四號案ヲ作成シ更ニ之ヲ内閣參議會ニ提案同意ヲ得タル趣ナリ

四 然ルニ翌十日更ニ連絡會議及閣議ニ於テ陸軍側ヨリ別紙第四號第三行目及四行目ヲ別紙第五號ノ通リ修正シ原案ノ趣旨復活方提議アリ右ノ通リ決定セリ（別紙第五號）

尚陸軍側ノ右修正中「、、、、、、、、、、日支兩國間過去一切ノ相剋ヲ一掃シ、、、、、、、、、、ノ一句ヲ原案通リ「過去一切ノ相剋ノ因果ヲ清算シ」ト修正方主張シタルモ結局兩者ノ間別ニ相異ナシトノコトニテ前者ノ通リ一應決定シタルニ依リ御前會議ノ際陸軍側ハ「過去一切ノ相剋ヲ一掃シ」トハ「一切ノ相剋ノ因果ヲ清算シ」ノ意味ト諒解スル旨述フルコトトセリ

五 御前會議ニハ平沼樞密院議長モ召サルルコトナリタルニ依リ十日夕内閣書記官長及外務次官ハ東亞局長ヲ同伴樞相ヲ往訪シ質問ニ應シ説明更ニ十一日朝外務次官ハ東亞局長ヲ同伴樞相ヲ往訪シ質問ニ應シ説明ニ關聯シ日支和議成立ノ場合現在成立セル北支政權ヲ如何ニスル所アリタルカ同課長ニ於テハ特ニ交渉條件細目ヲ北支問題

ヘキヤ及細目事項輿論ノ指導ニ付關心ト意見トヲ有シ居タリ（御前會議ニ先テ宮中ニ於テ外相及内相ヨリ是等ノ點ニ付平沼議長ニ説明スル所アリタルカ御前會議ニ於テ全議長ヨリ意見ノ陳述アリタリ）

六 一月十一日豫定通リ御前會議開催セラレ大本營ヨリ閑院參謀總長宮、伏見軍令部長宮、參謀次長、軍令部次長、内閣ヨリ近衛總理、外、陸、海、内、藏各大臣及特旨ニ依リ平沼樞密院議長出席シ別紙第五號(イ)及根本方針ヲ決定シタルカ其ノ際參謀總長宮（別紙第五號(ロ)）及樞密院議長（別紙第五號(ハ)）軍令部長宮（別紙第五號(ニ)）ヨリ夫々別紙ノ如キ意見ノ開陳アリタリ

REEL No. A-0211
0022
アジア歴史資料センター

別紙第一號

支那事變解決處理方針（昭和一三、一一、一五 軍務局）

注意

一 本處理方針ハ我國トシテ忍フヘキ最下限ヲ示シタルモノトス

二 本處理方針ヲ軍部外又ハ國外ニ出ス場合折衝上ノ戰術トシテ開示スヘキ輪廓ハ別ニ慎重ナル考慮ニ基キ之ヲ定ムヘキモノトス

從ツテ本案ノ取扱ニハ特ニ周到ナル注意ヲ要ス

REEL No. A-0211

0023

アジア歴史資料センター

本次事變ノ解決ハ左記諸項ニ準據シテ之ヲ處理ス

支那事變解決大綱

一、解決ハ日支間全般ノ問題ヲ一括シテ根本的ニ之ヲ行フモノトシ其交渉ハ日支直接ニ之ヲ行ヒ第三國ノ干渉ヲ許サス其過程ニ於テ第三國善意ノ内面的斡旋ハ之ヲ認ムルモ正式交渉ニハ關與セシムルコトナシ解決條項中滿洲國ニ關係アルモノハ同國ニ對シ別途承認セシムルノ處置ヲ執ル

二、解決ノ斡旋又ハ交渉中ト雖支那カ其一ノ第一、第二項及第二乃至其四ノ全要目承認ノ時期迄ハ休戰スルコトナク所要ノ作戰行動ヲ繼續ス

三、解決ノ氣運醸セハ事變ノ終結ヲ促進シ其成果ヲ有利ニシ且爾後ノ國交調整ヲ便ナラシムル如ク戰爭指導上百般ノ處置ヲ講ス

四、休戰ニ關スル談定事項ハ別ニ之ヲ定ム

五、休戰後解決條約批准迄ノ期間ニ於テハ適時再ヒ開戰シ得ル態勢ヲ變ムルコトナシ

六、解決ニ方リテハ努メテ事變前ニ於ケル歐米列强ノ在支權益ニ觸ルコトヲ避クルモ已ムヲ得サル第三國關係事項ハ解決成立後處理スルヲ以テ本旨トナス

七、解決條約ノ爲ノ附帶事項ハ別ニ之ヲ研究ス同事項モ亦批准事項ニ包含セシメ講和成立後ノ平時外交ニ持越スコトナシ

其二、締結方針

日支兩國ハ協力シテ東洋ノ道義文化ヲ再建設シ亞細亞民族ノ復興ヲ期スヘキコトヲ誓約シ過去一切ノ相剋ヲ清算シ東洋平和ト互助共榮トヲ圖ル爲左記諸項ヲ約ス

左記

一、日滿支三國ハ渾然相提携シテ東洋ノ平和ヲ確保シ善隣友好ノ實擧クルコトヲ相互ノ好誼ヲ破壞スルカ如キ政策、教育、交易手段等ヲ全廢スルト共ニ右種ノ惡果ヲ招來スル虞アル行動ヲ禁絶スルコト

二、東洋道義ノ文化ニ對スル侵略破壞ハ其武力的思想的經濟的政治的ノ何レナルヲ問ハス日滿支協同シテ之カ防衛ヲ除ニ當ルコト

三、日滿支三國ハ互助共榮ノ實ヲ擧クル爲産業經濟等ニ關シ長短相補有無相通ノ主旨ニ基キ協同互惠ヲ約定スルコト

其三、締結條項

一、支那ハ滿洲國ヲ正式承認スルコト

二、支那ハ北支及内蒙ニ夫々日滿支及防共强化ノ具現ヲ容易ナラシムヘキ政權ヲ樹立スルコト

三、支那ハ排日及反滿政策ヲ放棄スルコト

REEL No. A-0211
0024
アジア歴史資料センター

四、支那ハ防共政策ヲ確立シ日滿兩國ノ同政策遂行ニ協同シ尚滿洲國ト共ニ日獨伊防共協定ニ參加ヲ約スルコト

五、日滿支三國ハ其何レカ三國以外ノ國ヨリ受クル侵略特ニ武力侵攻及共產赤化工作ニ對シテハ三國商議ノ上直接若ハ間接ニ協同防衛ノ措置ヲ執ルコト

六、日滿支三國ハ資源開發物資交易航空連絡交通等ニ關シ所要ノ互惠的協定ヲ設定スルコト

七、支那ハ本事變ノタメ日本居留民ノ受ケタル損害ニ對シ補償ノ責ニ任スルコト

八、日本ハ本條約ノ成立ト同時ニ左ノ諸協定ヲ廢棄スルコト

梅津何應欽協定
河北停戰協定
土肥原秦德純協定
上海停戰協定（昭和七年）

第四、保障事項

日支兩國ハ本條約ヲ誠意ヲ以テ履行スルノ保證トシテ左記事項ヲ約定ス

一、日本軍ノ進出セル地域ハ非武裝地域トナシ現在スル日本軍ハ地方治安ノ恢復ト共ニ自主的ニ撤兵スルコト

0034

二、北支ニ於ケル重要地域及上海附近ニ於テハ日支協同シテ治安ノ維持並防共ノ爲支那警察隊ニ依ルノ外最小限度ノ日本軍ノ駐屯並必要ノ軍事施設並主要交通ノ管理擴充ヲ容認スルコト

三、支那ハ日本ニ對シ北支五省ニ於ケル金融、關稅處理、資源開發、交通通信管理等ニ關シ特殊權益ヲ與ヘ所要機關ノ存置ヲ認ムルコト

日本ハ本條約及之ニ伴フ諸約定ノ實現ヲ確認スルニ於テハ右保障ノ爲ノ約定ヲ解除シ之ニ伴フ權益中保證ノ目的ヲ以テ保有セシ部分ヲ支那ニ返還スベキモノトシ同時ニ日本ハ支那ノ國權回復及其復興等ニ協力ノ目的ヲ以テ從來ヨリ有スル其在支權益ハ當時ノ情勢ニ應シ之ヲ支那ニ返還スヘキ用意アルコトヲ約ス

0035

REEL No. A-0211
0025
アジア歴史資料センター

支那事變處理根本方針（御前會議議題）

(甲) 方針

帝國ハ滿洲國トノ關係ヲ強化シ支那ト提携シテ東洋平和ノ樞軸ヲ形成シ之ヲ核心トシテ東亞民族ノ共存共榮ヲ實現シ世界ノ平和ニ貢獻スルヲ以テ東亞ニ處スル帝國國策ノ鐵則トス

之カ爲先ツ日支兩國過去一切ノ相剋ノ因果ヲ清算シ兩國國交ヲ大乘的基礎ノ上ニ再建セントシ日支國交ノ原則トシテ左記諸項ヲ兩國間ニ確約スルモノトス

一、日支兩國ハ互ニ主權及領土ヲ尊重シツツ渾然相提携シテ東洋ノ平和ヲ確保シ東洋文化ノ興隆ヲ圖リ善隣友好互助共榮ノ實ヲ擧クルコトヲ目途トシ

(一) 日滿支三國ハ相互ノ好誼ヲ破壞スルカ如キ政策、教育、交易其他凡ユル手段ヲ全廢スルト共ニ右種ノ惡果ヲ招來スル虞アル行動ヲ禁絶スルコト

(二) 日滿支三國ハ互ニ相共同シテ文化ノ提携防共政策ノ實現ヲ期スルコト

(三) 日滿支三國ハ產業經濟等ニ關シ長短相補有無相通ノ主旨ニ基キ共同互惠ヲ約定スル

(乙) 要領

特ニ政戰兩略ノ緊密ナル運用ニ依リ左記各項ノ適切ナル實行ヲ

0036

期ス

(一) 支那現中央政府ニシテ此際反省誠意ヲ以テ和ヲ求ムルニ於テハ前記處理方針ニ則リ事變ノ解決ヲ計ルモノトス

之カ爲別紙(甲)日支媾和交渉條件ニ準據シテ交渉ヲ開始ス

帝國ハ支那側ノ媾和條項ノ實行ヲ確認スルニ於テハ右條件中ノ保障條項別紙(乙)ヲ解除スルノミナラス更ニ進テ支那ノ國權回復及其復興等ニ衰心協力スルモノトス

(二) 支那現中央政府カ和ヲ求メ來ラサル場合ニ於テハ帝國ハ爾後之ヲ相手トスル事變解決ニ期待ヲ掛ケス新興支那政權トノ間ニ前記處理方針ニ準據シテ兩國國交ノ調整ヲ協定シ更生新支那ノ建設ニ協力スル右協力ニ當リテモ支那側政權ノ國家的矜持ヲ尊重シ其ノ自主的經倫ヲ實現セシムル如クス

(三) 本事變ニ對處シ國際情勢ノ變轉ニ備ヘ前記處理方針ノ貫徹ヲ期スル爲一方我國家總力就中防力ノ急速ナル培養整備ヲ促進シ他方第三國トノ友好關係ノ保持改善ヲ計ルモノトス

(四) 第三國ノ權益ハ之ヲ尊重シ專ラ自由競爭上ノ實力ニヨリ對支經濟發展ニ優位ヲ獲得スルコトヲ期ス

0037

REEL No. A-0211
0026
アジア歴史資料センター

(五)我軍官民ニ對シ前記綱領的國策及之ヨリ發露スル大乘的政策ヲ眞ニ徹底セシメ以テ越軌的言動ヲ解消セシムル樣國論ヲ指導ス對外啓發ニツキテモ亦同シ

日支調整案要綱

一、支那ハ滿洲國ヲ正式承認スルコト
二、支那ハ排日及反滿政策ヲ放棄スルコト
三、北支及內蒙ニ非武裝地帶ヲ設定スルコト
四、北支ハ支那主權ノ下ニ於テ日滿支三國ノ共存共榮ヲ實現スル適當ナル機構ヲ設定シ之ニ廣汎ナル權限ヲ賦與シ特ニ日滿支經濟合作ノ實ヲ擧グルコト
五、內蒙古ニハ防共自治政府ヲ設立スルコト其ノ國際的地位ハ現在ノ外蒙ニ同シ
六、支那ハ防共政策ヲ確立シ日滿兩國ノ同政策遂行ニ協力スルコト
七、中支占據地域ニ非武裝地帶ヲ設定シ又大上海市區域に就テハ日支協力シテ之カ治安ノ維持及經濟發展ニ當ルコト
八、日滿支三國ハ資源ノ開發"關稅"交易"航空"交通"通信等ニ關シ所要ノ協定ヲ締結スルコト
九、支那ハ帝國ニ對シ所要ノ賠償ヲナスコト

附記。

(一)北支內蒙及中支ノ一定地域ニ保障ノ目的ヲ以テ必要ナル期間日本軍ノ駐屯ヲナスコト

(二)前諸項ニ關スル日支間ノ協定成立後休戰協定ヲ開始ス

REEL No. A-0211
0027
アジア歴史資料センター

支那政府カ前記各項ノ約定ヲ誠意ヲ以テ實行シ日支兩國提携共助ノ我方理想ニ眞ニ協力シ來ルニ於テハ帝國ハ單ニ右約定中ノ保障的條項ヲ解消スルノミナラス進テ支那ノ復興及其ノ國家的發展國民的要望ニ衷心協力スルノ用意アリ

別紙

(一) 別紙甲中保障條項タルモノ左ノ如シ

一、第三項ノ非武裝地帶

二、第四項ノ折衝ニ當リ保障ノ目的ヲ以テ設定セラルヘキ特殊權益及之カ爲存置ヲ必要トスル機關

三、第七項ノ非武裝地帶

四、附記(一)及之ニ伴フ軍事施設、主要交通ノ管理擴充ニ關スル權益

(二) 講和ニ關連シテ廢棄スヘキ約定

一、梅津何應欽協定、塘沽停戰協定、土肥原秦德純協定、上海停戰協定ノ廢棄ト同時ニ從來ヨリ有スル對支特殊權益(例ヘハ治外法權、租界、駐兵權等ノ如シ)ノ廢棄ヲ考慮ス

別紙第三號

支那事變處理根本方針(御前會議題)

(甲) 方針

帝國ハ滿洲國トノ關係ヲ強化シ支那ト提携シテ東洋平和ノ樞軸ヲ形成シ之ヲ核心トシテ東亞民族ノ共存共榮ヲ實現シ世界ノ平和ヲ貢獻スルヲ以テ東亞ニ處スル帝國不動國策トス

(一) 日滿支三國ハ相互ノ好誼ヲ破壞スルカ如キ政策、教育、交易、其他凡ユル手段ヲ全廢スルト共ニ右種ノ照果ヲ招來スル虞アル行動ヲ禁絶スルコト

(二) 日滿支三國ハ互ニ相共同シテ文化ノ提携防共政策ノ實現ヲ期スルコト

(三) 日滿支三國ハ産業經濟等ニ關シ長短相補有無相通ノ主旨ニ基キ共同互惠ヲ約定スルコト

(乙) 要領

特ニ政戰兩略ノ緊密ナル運用ニ依リ左記各項ノ適切ナル實行ヲ期ス

(一) 支那現中央政府ニシテ此際反省翻意シ誠意ヲ以テ和ヲ求ムルニ於テハ前記處理方針ニ則リ事變ノ解決ヲ計ルモノトス之カ爲別紙甲日支媾和交渉條件ニ準據シテ交渉ヲ開始ス帝國ハ支那側ノ媾和條項ノ實行ヲ確認スルニ於テハ右條件中

REEL No. A-0211
0028
アジア歴史資料センター

ノ保障條項別紙乙ヲ解除スルノミナラス更ニ進テ支那ノ國權

(二) 同復及其復興等ニ衷心協力スルモノトス

支那現中央政府カ和ヲ求メ來ラサル場合ニ於テハ帝國ハ爾後之ヲ相手トスル事變解決ニ期待ヲ掛ケス新興支那政權ノ成立ヲ助長シ前記處理方針ニ準據シテ之ト兩國國交ノ調整ヲ協定シ更生新支那ノ建設ニ協力ス

支那現中央政府ニ對シテハ帝國ハ之カ潰滅ヲ圖リ又ハ新興中央政權ノ傘下ニ收容セラルル如ク施策ス

(三) 本事變ニ對處シ期スル爲我國家總力就中國防力ノ急速ナル培養整備ヲ促進シ第三國ノ權益ハ之ヲ尊重シ專ラ自由競爭上ノ實力ニヨリ對支第三國ノ友好關係ノ保持改善ヲ計ルモノトス

(四) 經濟發展ニ俟位ヲ獲得スル大乘的政策ヲ眞ニ我軍官民ニ對シ前記國策及之ヨリ發露スル以テ越軌的言動ヲ解消セシメ以テ徹底セシムル樣輿論ヲ指導ス

(五) 對外啓發ニツキテモ亦同シ

別紙 甲

日支媾和交渉條件細目

一、支那ハ滿洲國ヲ正式承認スルコト

二、支那ハ排日及反滿政策ヲ放棄スルコト

三、北支及內蒙ニ非武裝地帶ヲ設定スルコト

四、北支ハ支那主權ノ下ニ於テ日滿支三國ノ共存共榮ヲ實現スル適當ナル機構ヲ設定シ之ニ廣汎ナル權限ヲ賦與シ特ニ日滿支經濟合作ノ實ヲ擧クルコト

五、內蒙古ニハ防共自治政府ヲ設立スルコト其ノ國際的地位ハ現在ノ外蒙ニ同ジ

六、支那ハ防共政策ヲ確立シ日滿兩國ノ同政策遂行ニ協力スルコト

七、中支占據地域ニ非武裝地帶ヲ設定シ又大上海市區域ニ就テハ日支協力シテ之ガ治安ノ維持及經濟發展ニ當ルコト

八、日滿支三國ハ資源ノ開發、關稅、交易、航空、交通、通信等ニ關シ所要ノ協定ヲ締結スルコト

九、支那ハ帝國ニ對シ所要ノ賠償ヲナスコト

附記。

(一) 北支內蒙及中支ノ一定地域ニ保障ノ目的ヲ以テ必要ナル期間日本軍ノ駐屯ヲナスコト

(二) 前記協定成立後休戰協定ヲ開始スルニ關スル日支間ノ

REEL No. A-0211

0029

アジア歴史資料センター

支那政府カ前記各項ノ約定ヲ誠意ヲ以テ實行シ日支兩國提携共助ノ我方理想ニ眞ニ協力シ來ルニ於テハ帝國ハ單ニ右約定中ノ保障的條項ヲ解消スルノミナラズ進デ支那ノ復興及其ノ國家的發展、國民的要望ニ衷心協力スルノ用意アリ

別紙乙

(一)別紙甲中保障條項タルモノ左ノ如シ

一、第三項ノ非武裝地帶

二、第四項ノ折衝ニ當リ保障ノ權益及之カ爲存置ヲ必要トスル機關

三、第七項ノ非武裝地、

四、附記(一)及之ニ伴フ軍事施設、主要交通ノ管理擴充ニ關スル權益

(二)講和ニ關連シテ廢棄スヘキ約

一、梅津何應欽協定、塘沽停戰協定、停戰協定

二、保障事項ノ解消ト同時ニ從來ヨリ有スル對支特殊權益(例ヘバ治外法權、租界、駐兵權等ノ如シ)ノ廢棄ヲ考慮ス

別紙第四號

支那事變處理根本方針(御前會議議題)

帝國不動ノ國是ハ滿洲國及ビ支那ト提携シテ東洋平和ノ樞軸ヲ形成シ之ヲ核心トシテ世界ノ平和ニ貢獻スルニアリ

右ノ國是ニ基キ今次ノ支那事變ニ關シテハ左記諸項ヲ日支兩國間ニ確約シ兩國國交ノ再開ヲ圖ルモノトス

(一)日滿支三國ハ相互ノ好誼ヲ破壞スルカ如キ政策、教育、交易、其他凡ユル手段ヲ全廢スルト共ニ右種ノ惡果ヲ招來スル虞アル行動ヲ禁絶スルコト

(二)日滿支三國ハ互ニ相共同シテ文化ノ提携防共政策ノ實現ヲ期スルコト

(三)日滿支三國ハ產業經濟等ニ關シ長短相補有無相通ノ主旨ニ基キ共同互惠ヲ約定スルコト

右ノ方針ニ基キ帝國ハ特ニ政戰兩路ノ緊密ナル運用ニ依リ左記各項ノ適切ナル實行ヲ期ス

(一)支那現中央政府ニシテ此際反省翻意シ誠意ヲ以テ和ヲ求ムルニ於テハ別紙(甲)日支講和交渉條件ニ準據シテ交渉ヲ開始ス

帝國ハ將來支那側ノ講和條項實行ヲ確認スルニ至ラハ右條件中ノ保障條項別紙(乙)ヲ解除スルノミナラス更ニ進テ支那ノ復興發展ニ衷心協力スルモノトス

REEL No. A-0211

0030

アジア歴史資料センター

(二)支那現中央政府カ和ヲ求メ來ラサル場合ニ於テハ帝國ハ爾後之ヲ相手トスル事變解決ニ期待ヲ掛ケス新興支那政權ノ成立ヲ助長シコレト兩國國交ノ調整ヲ協定シ更生新支那ノ建設ニ協力ス

支那現中央政府ニ對シテハ帝國ハ之カ潰滅ヲ圖リ又ハ新興中央政權ノ傘下ニ收容セラルル如ク施策ス

(三)本事變ニ對處シ國際情勢ノ變轉ニ備ヘ前記方針ノ貫徹ヲ期スル爲國家總力就中國防力ノ急速ナル培養整備ヲ促進シ第三國トノ友好關係ノ保持改善ヲ計ルモノトス

(四)第三國ノ權益ハ之ヲ尊重シ專ラ自由競爭ニヨリ對支經濟發展ニ優位ヲ獲得スルコトヲ期ス

(五)國民ノ間ニ事變處理根本方針ノ趣旨ヲ徹底セシムル樣國論ヲ指導ス

對外啓發ニツキテモ亦同シ

支那事變處理根本方針

（昭和十三年一月十一日）

御前會議決定

帝國不動ノ國是ハ滿洲國及ヒ支那ト提携シテ東洋平和ノ樞軸ヲ形成シ之ヲ核心トシテ世界ノ平和ニ貢獻スルニアリ

右ノ國是ニ基キ今次ノ支那事變處理ニ關シテハ日支兩國間過去一切ノ相剋ヲ一掃シ兩國國交ヲ大乘的基礎ノ上ニ再建シ互ニ主權及ヒ領土ヲ尊重シツツ渾然融和ノ實ヲ擧クルヲ以テ鎮定ノ目標トシ先ツ事變ノ再起防遏ニ必要ナル保障ヲ確立スルト共ニ左記諸項ヲ兩國間ニ確約ス

(一)日滿支三國ハ相互ノ好誼ヲ破壞スルカ如キ政策、教育、交易、其他凡ユル手段ヲ全廢スルト共ニ右種ノ惡果ヲ招來スル虞アル行動ヲ禁絶スルコト

(二)日滿支三國ハ互ニ相共同シテ文化ノ提携防共政策ノ實現ヲ期スルコト

(三)日滿支三國ハ產業、經濟等ニ關シ長短相補有無相通の趣旨ニ基キ共同互惠ヲ約定スルコト

右ノ方針ニ基キ帝國ハ持ニ政戰兩略ノ緊密ナル運用ニ依リ左記各項ノ適切ナル實行ヲ期ス

(一)支那現中央政府ニシテ此際反省翻意シ誠意ヲ以テ和ヲ求ムルニ於テハ別紙第日支講和交渉條件ニ準據シテ交渉ス

REEL No. A-0211

0031

アジア歴史資料センター

帝國ハ將來支那側ノ排日條項ヲ確認スルニ至ラハ右條件中ノ保障條項別紙(イ)ヲ解除スルノミナラス更ニ進テ支那ノ復興發展ニ衷心協力スルモノトス

(ロ)支那現中央政府カ和ヲ求メ來ラサル場合ニ於テハ帝國ハ爾後之ヲ相手トスル事變解決ニ期待ヲ掛ケス新興支那政權ノ成立ヲ助長シコレト兩國國交ノ調整ヲ協定シ更ニ新支那ノ建設ニ協力ス支那現中央政府ニ對シテハ帝國ハ之カ清滅ヲ圖リ又ハ新興中央政權ノ參下ニ收容セラルル如ク施策ス

(三)本事變ニ對シ蒙疆ニ滿入前記方針ノ貫徹ヲ期スル爲國家總力就中國防力ノ急速ナル培養整備ヲ促進シ第三國トノ友好關係ノ保持改善ヲ計ルモノトス

(四)第三國ノ權益ハ之ヲ尊重シ專ラ自由競爭ニヨリ對支經濟發展ニ優位ヲ獲得スルコトヲ期ス

(五)國民ノ間ニ事變處理根本方針ノ趣旨ヲ徹底セシムル樣國論ヲ指導對外宣傳ニツキテモ亦同シ

(0043

別紙甲

日支講和交渉條件細目

一、支那ハ滿洲國ヲ正式承認スルコト

二、支那ハ排日及反滿政策ヲ放棄スルコト

三、支及內蒙ニ非武裝地帶ヲ設定スルコト

四、北支ハ支那主權ノ下ニ於テ日滿支三國ノ共存共榮ヲ實現スルニ適當ナル機構ヲ設定シ之ニ廣汎ナル權限ヲ賦與シ特ニ日滿支經濟合作ノ實ヲ擧クルコト

五、內蒙古ニハ防共自治政府ヲ設立スルコト其ノ國際的地位ハ現在ノ外蒙ニ同シ

六、支那ハ防共政策ヲ確立シ日滿兩國ノ同政策遂行ニ協力スルコト

七、中支占據地域ニ非武裝地帶ヲ設定シ又大上海市區域ニ就テハ日支協力シテ之カ治安ノ維持及經濟發展ニ當ルコト

八、日滿支三國ハ資源ノ開發、關稅、交易、航空、交通、通信等ニ關シ所要ノ協定ヲ締結スルコト

九、支那ハ帝國ニ對シ所要ノ賠償ヲナスコト

附記。

(一)北支內蒙及中支ノ一定地域ニ保障ノ目的ヲ以テ必要ナル期間日本軍ノ駐屯ヲナスコト

(二)前諸項ニ關スル日支間ノ協定成立後休戰協定ヲ開始ス

(0043

REEL No. A-0211

0032

アジア歴史資料センター

支那政府カ前記各項ノ約定ヲ誠意ヲ以テ實行シ日支兩國提携共助ノ我方理想ニ眞ニ協力シ來ルニ於テハ帝國ハ單ニ右約定中ノ保障的條項ヲ解消スルノミナラス進テ支那ノ復興及其ノ國家的發展、國民的要望ニ專心協力スルノ用意アリ、

別紙乙

(一)別紙甲中保障條項タルモノ左ノ如シ

一、第三項ノ非武裝地帶

二、第四項ノ折衝ニ當リ保障ノ目的ヲ以テ設定セラルヘキ特殊權益及之カ爲存置ヲ必要トスル機關

三、第七項ノ非武裝地帶

四、附記(一)及之ニ伴フ軍事施設、主要交通ノ管理擴充ニ關スル權益

(二)講和ニ關聯シテ廢棄スヘキ約定

一、梅津何應欽協定、塘沽停戰協定、土肥原秦德純協定、上海停戰協定

二、保障事項ノ解消ト同時ニ從來ヨリ有スル對支特殊權益(例ヘハ治外法權、租界、駐兵權等ノ如シ)ノ廢棄ヲ考慮ス

REEL No. A-0211

0033

アジア歴史資料センター

支那事變處理根本方針

（昭和十三年一月十一日
御前會議決定）

（昭和十三年一月十一日御前會議ニ於テ決定セラレ
一月十五日第二段ノ措置ヲ執ルコトニ決定セラル）

（以下內容別紙第五號（甲）ニ同ジニ付省略ス）

REEL No. A-0211
0034
アジア歴史資料センター

御前會議ニ於テ大本營陸軍部トシテノ御報告（草案）

本日ノ議題タル支那事變處理根本方針ニ關シ大本營陸軍部ト致シマシテ內閣側ト意見ノ一致ヲ見ルニ至リマシタ見解ニ就キ御報告申上ケマス

日支兩國ハ先ツ國防上大局ノ見地ニ基キマスルモ相互ニ衷心ヨリ道義的ノ親善提携ヲ必要トスル高所ヨリ兩國國交ノ大道ニ照シマスルトキハ益々其必要ヲ感スルノテコサリマス

此見地ニ基キ內閣側ト種々意見ノ交換ヲ重ネマシタ結果只今外務大臣ヨリ御報告申上ケタ如キ意見ノ一致ヲ見ルニ至リマシタ次第テコサリマス

旨見解ニ基キ意見ノ一致ヲ見ルニ至リマシタ次第テコサリマス

今次支那事變ノ解決ヲ契機トスル日支兩國ノ國交恢復ニ方リマシテハ從來ノ國交ニ一大轉換ヲ劃シマシテ東亞ニ於ケル兩國カ過去一切ノ相剋ノ因果ヲ清算シ道義的基礎ノ上ニ衷心ヨリスル善隣友好互助共榮ノ實ヲ擧ケ協同シテ東洋ノ平和ヲ確保シ其道義文化ノ擁護興隆ヲ圖リ延イテ世界ノ平和ニ貢獻スルコトヲ主眼トスヘキモノテアリマシテ本件ハ今次事變出兵目的ノ骨子ヲ成スモノト信セラレマス例ヘハ「日支兩國間過去一切ノ相剋ヲ一掃シ兩國國交ヲ大乘的基礎ノ上ニ再建シ」ト述ヘラレ又「文化提携」ノ語句ヲ用ヒラレマシタノハ此觀念ヲ意味スルモノト諒解致シテ居リマス

次ニ講和ノ條件ハ勝敗及戰爭ノ程度等ニ依リ自ラ差異アルハ避ケ難イ所ト存セラレマスカ前述ノ主眼ニ基キマスレハ此際ノ解決ニ當リマシテモ戰勝國カ戰敗國ニ對シ過酷ナル條件ヲ强要スルカ如キ心境ハ惹來モ之ヲ有スヘキニアラストスル根本ノ觀念ニ立脚シマシテ公明正大ニシテ支那民衆ヲシテ努メテ帝國ノ講和條件ニ怨恨ヲ懷カシメス且公平ナル第三國ニ對シテモ我眞意ノ存スル所ヲ認識諒解セシムル爲努メテ寬大ナルヲ要スヘキモノト思惟致シテ居リマス

唯々支那側爲政者ノ講和ノ內意及其不信行爲ニ關スル從來ノ經驗等ニ基ク關係上ノ障害ハ確實ニ之ヲ把握致シマスト共ニ約諾ノ實行ニ伴ヒ之ヲ解除スルコトヲ約シマシテ爾他ノ講和條件ト確然タル區別ヲ設ケ以テ將來ニ於ケル事變ノ再發ヲ防遏シ今次事變ノ眞キ發端ニ爾他ノ講和條件ヲ努メテ寬大ナラシムルコトヲ容易ニシ且支那側ニ對シ將來ニ希望ト光明トヲ與ヘ併セテ今後成ルヘク速ニ而モ誠意アル約諾ノ實行ヲ促進スル等ノ目的ヲ併セ達成スルヲ得策トスル次第ト存シマス本案ハ基礎條件細目ノ內容カ適正穩健ニ規定サレマスナラヘ正ニ此趣旨ニ合スルモノト見解致シテ居リマス

之ト併行シ事變解決後ノ國際情勢ノ變轉等ニ備フル爲國家總力戰ノ充實整備ヲ必須ノ措置ト致シマス即チ今次事變解決ノ

REEL No. A-0211
0035
アジア歴史資料センター

效果ヲ眞ニ根本的ノモノタラシメ得ルヤ否ヤハ寧ロ我方今後ニ於ケル此等ノ措置如何ニ隠ルモノカ大テアルト存シマス事變カ持久ノ態勢ニ移行致シマスル場合ニハ右ノ充實整備ハ一層促進セラルヘキモノトアリマシテ本案ハ此等ノ點ニ關シ十分ノ覺悟ヲ表示セラレタルモノトアリマシテ尚大本營陸軍幕僚部ト致シマシテハ事變發生當時ヨリ長期ニ亘ル場合ヲ顧慮シ適時持久ノ態勢ニ轉移シ得ル爲諸般ノ準備ヲ整ヘツツアリマスルカ前述我國防上ノ大局的見地ヨリ支那ニ對スル兵力行使ノ持久戰爭的性質ニ於テモ統帥ノ立場トシテ支那ニ對スル兵力行使ノ交ノ大道等以外ニ於テモ統帥ノ立場トシテ支那ニ對スル兵力行使ノ持久戰爭的物資、列强ノ對支援助並帝國ノ對第三國軍備及建設ノ現狀等ニ稽ヘ又統帥部方面ヨリ見タル國際諸情勢、國內及國家總力ノ實情等ニ鑑ミマスレハ今次事變ハ其出兵目的ノ達成ニ遺憾ナキ限リマス加之最近ノ如キ氣運ニ投シ若我國ノ出兵目的ニ適スル媾和解決ノ成立ヲ見ルコトヲ得マスレハ帝國ノ爲ミナラス日滿支三國ノ國力就中國防力ノ適度ノ減耗ヲ防キ防共ヲ容易ニシ帝國カ將來ニ處スヘキ所テコサリマス此等ノ充實整備ノ餘力ヲ東洋ノ平和ノ爲誠ニ喜フヘキ此目的ノ爲政戰兩略上ニ於ケル帝國ノ存セシメ目下ノ時期ニ於テハ尚先ツ此目的ノ爲政戰兩略上ニ於ケル帝國ノ諸般ノ措置ヲ統合シテ寄與スヘキモノト考ヘ本案ヲ以テ此趣旨ニ合スルモノト解シ同意致シマシタ次第デコサリマス

別紙第五號（丁）

軍令部總長宮殿下御口述覺（草案）

本方針ニ對シマシテハ異存アリマセヌ、又參謀總長ノ述ヘラレタ所見ヲ主旨ニハ同感テアリマス、尚本方針ニ基キ實行スヘキ條項ノ第三即本事變ニ對處シ國際情勢ノ變轉ニ備ヘ前記方針ノ貫徹ヲ期スル爲國家總力就中國防力ノ急速ナル培養整備ヲ促進シ第三國トノ友好關係ノ保持改善ヲ計ルモノトス

ハ支那現中央政府カ和ヲ求メ來ラサル場合ハ勿論和ヲ求ムル場合ニ於キマシテモ今後ノ國際情勢カ益々機微ナラムトシマスルニ鑑ミ特ニ重要テアルト認メマネカラ各部協力一致シテ極力之カ實現ニ邁進スルノ要アルモノト認メテ居リマス

REEL No. A-0211
0036
アジア歴史資料センター

御意見陳述ノ要旨（平沼樞府議長）

意見ヲ申上マスニ唯今當局大臣ノ説明ヲ聽キ尚ホ開會前疑問ノ存スル所ヲ當局之ニ質シマシタ其ノ辨明ヲ聽キ本案ノ趣旨ヲ領承致シマシタ又此ノ席ニ於テ參謀總長殿下並ニ軍令部總長殿下ノ賢意ヲ表シマシタ

ク致シマシタ此ノ案ニ付キマシテハ全ク意見ヲ同ジクスル點ニ於テ異議ハ御座リマセヌガ此ノ案ノ本旨ヲ遂行スルニ付深ク考慮スベキ點アリト信ジマスルガ故ニ之ヲ述ヘテ責任アル當局者ノ注意ヲ喚起致シ度ク存シマス

支那事變起リテヨリ當局者カ是迄克ク聖旨ヲ奉シテ其ノ任務ヲ遂行セラレタコトハ深ク感謝スル所デ御座リマスカ今後ニ於キマシテハ是レ迄ヨリ一層事ノ困難ナルコトヲ覚悟シ一層ノ奮起ヲ加ヘ深ク留意スベキ事ノ殊ニ善後ノ處理宜シキヲ制スルコトハ勿論テアルコトハ申ス迄モナイコトデアリマスガ其ノ目的ヲ達スルニ當リ幾ハクカ下心ヲ一ニシテ中正ナル基礎ヲ確立セネバナリマセヌ當局ノ立案ハ此ノ外上ニ失ハレタ地位ヲ回復シ國威ヲ宣揚スル上ニ於テ和平ノ基礎ヲ求メ來リ和議成ルトキハ永ク其ノ地位ヲ認メネバナリマセヌ現中央政府カ和ヲ求メ來リ和議成ルトキハ支那現中央政府ヲ存置スル場合ニハ其ノ儘新設セラレヘキ自治政府ヲ成立セシメ北支ニ事實上存在スル自治政府ヲ綱領ヲ示シ細目ヲ定メ必要ガアリマスト存シマス、嚴ニ過クル要スルニ寛嚴宜シキヲ得タリト考ヘマス乍去此ノ案ハ此ノ目的ヲ達スルニ當リ幾ハクカ又之ヲ遂行スル上ニ於テ其ノ組織ヲ見ル場合ニ於テ支

0058

何レモ再ヒ禍亂ヲ生スルノ因ヲ爲スモノト思ヒマス

本文ニ依レハ支那現中央政府カ和ヲ求メ來リ和議成ルトキハ永ク其ノ地位ヲ認メネバナリマセヌ現中央政府カ內蒙ニ自治政府ヲ成立セシメ北支ニ事實上存在スル自治政府ヲ別紙甲ニ記載スルガ如ク內蒙ニ現在內蒙並ニ北支ニ現存スル機構ハ皆我方ノ指示ニ依リ其ノ組織ヲ見ルニ至リタルモノデ御座リマス、若シ和講成リタル場合ニ於テ支那中央政府カ之ヲ反逆視スルカ如キコトアラハ我ハ信ヲ中外ニ失ハ免ルカ如キ趣旨ニ於テ處理スルコトヲ以テ動カサル方針ト爲サネバナラヌコトト考ヘマス

別紙甲ニ依レハ北支ハ支那主權ノ下ニ於テ日滿支三國ノ共榮ヲ實現スルニ適當ナル機構ヲ設立シ之ニ廣汎ナル權限ヲ賦與シ特ニ日滿支經濟合作ノ實ヲ擧クルニアリト記シテアリマス案スルニ此ノ機構ヲ設立スル目的ハ三國ノ經濟合作ノ實ヲ擧クルニ在ルモ其ノ機構ノ本體ハ一種ノ政治機構テアルコトハ明デ御座

0059

REEL No. A-0211
0037
アジア歴史資料センター

リマス而テ此ノ機構ハ内閣ニ設立セラルヘキ自治政府ト異ナリ中央政府ノ統制下ニ置カルヘキモノデ御座リマス若シ此ノ機構カ一般地方政廳ノ如ク各般ノ事項ニ付キ支那中央政府ノ指揮ヲ受クヘキモノデアレバ到底所期ノ目的ヲ達スルコトハ出來マセン獨立國家ノ如ク條約ヲ締結スルコトヲ許サザルハ勿論ナルモ少クトモ所定ノ目的ノ爲メニハ中央政府ノ指揮ヲ待タスシテ有效ナル協定ヲ爲シ得ルノ權限ヲ有セシムルコトヲ動カスヘカラサルノ條件トセネバナラヌコトモ考ヘマスコレハ東洋平和ノ爲メニ已ムヲ得ザルコトト

シテ本文ノ末項ニ「國民ノ間ニ事變處理根本方針ノ趣旨ヲ徹底セシ忍ハネバナリヤセヌ」ト云フ様國論ヲ指導スヘキ方針カ聖斷ニ依リ定マリタル以上ハ國民一人トシテ之ニ異議ヲ唱フルモノナキコトハ明デアリマスシ輔弼ノ責任ヲ有スル國務大臣ハ國民全體ニ對シ徹底的ニ其ノ趣旨ヲ了解セシムル義務ヲ生シ恩ハサルノ結果ヲ生スルノ恐ナシトシ斷言スルコトハ出來マセン

御座リマス若シ此ノ機構カ一般地方政廳ノ如ク各般ノ事項ニ付キ支那中央政府ノ指揮ヲ受クヘキモノデアレバ到底所期ノ目的ヲ達スルコトハ出來マセン獨立國家ノ如ク條約ヲ締結スルコトハ勿論ナルモ少クトモ中央政府ノ指揮ヲ待タスシテ有效ナル協定ヲ爲シ得ルノ權限ヲ有セシムルコトヲ考ヘマスコレハ東洋平和ノ爲メニ已ムヲ得ザルコトト

此ノ機構カ一般地方政廳ノ如ク各般ノ事項ニ付キ支那中央政府ノ指揮ヲ受クヘキモノデアレバ到底所期ノ目的ヲ達スルコトハ出來マセン獨立國家ノ如ク條約ヲ締結スルコトハ勿論ナルモ少クトモ中央政府ノ指揮ヲ待タスシテ有效ナル協定ヲ爲シ得ルノ權限ヲ有セシムルコトヲ考ヘマスコレハ東洋平和ノ爲メニ已ムヲ得ザルコトト

ノ輕カサルコトヲ痛感致シマス

以上當局者ニ望ム所ノ大要ヲ述ヘマシテ意見ノ開陳ヲ終リマス

（附記）

（左記ハ前記要旨手交ニ當リ平沼樞密院議長ヨリ堀内次官ニ述ヘタル趣旨ナリ）

御前會議議題ヲ受領シテヨリ會議マデノ間十分時間ノ餘裕ナカリシ爲メ御前會議ニ於テ自分ノ意見ヲ陳述スルニ當リテハ單ニ其ノ要旨ヲ「メモ」ニ留メ居タルニ過ギナカリシモノナルニ付キ本件書キ物ハ御前會議ニ於テ陳述セル所ト字句ニ於テ必スシモ一致シ居ラサル所アルノミナラス尚略ニシタル箇所アルモ趣旨ニ於テハ何等變ル所ナシ

後前記要旨ヲ書上ケタルモノナルニ付キ本件書キ物ハ御前會議ニ於テ陳述セル所ト字句ニ於テ必スシモ一致シ居ラサル所アルノミナラス尚略ニシタル箇所アルモ趣旨ニ於テハ何等變ル所ナシ

貴ハ右以外ニモ意見申述ヘタキ點アリタルモ既ニ參謀總長及軍令部總長兩宮殿下ノ述ヘラレタル所ト重複スル部分モアリタルニ付キソレ等ノ點ハ自分ニ於テ全然同感ナリト述フルニ止メ繰返シ自分ノ意見ヲ開陳スルコトハ之ヲ差控ヘタリ

REEL No. A-0211
0038
アジア歴史資料センター

帝國政府聲明

（昭和十三年一月十六日）

帝國政府は南京攻略後尚支那國民政府ノ反省ニ最後ノ機會ヲ與フル爲今日ニ及ベリ、然ルニ國民政府ハ帝國ノ眞意ヲ解セズ漫リニ抗戰ヲ策シ、內民人塗炭ノ苦ミヲ察セズ、外東亞全局ノ和平ヲ顧ミル所ナシ、仍テ帝國政府ハ爾後國民政府ヲ對手トセズ、帝國ト眞ニ提携スルニ足ル新興支那政權ノ成立發展ヲ期待シ、是ト兩國國交ヲ調整シテ更生新支那ノ建設ニ協力セントス、元ヨリ帝國カ支那ノ領土及主權並ニ在支列國ノ權益ヲ尊重スルノ方針ハ毫モカハル所ナシ、今ヤ東亞和平ニ對スル帝國ノ責任愈々重シ

政府ハ國民カ此ノ重大ナル任務遂行ノ爲一層ノ發奮ヲ冀望シテ止マズ

0062

北支政務指導要綱

其一、方針

一、北支政務指導ノ要ハ作戰地後方地域（冀東ヲ含ム以下同シ）ニ於ケル各般ノ政務事項ヲ統合指導シ該地域ヲシテ日滿支提携共榮實現ノ基礎タラシムルニアリ

其二、要領

一、政務指導各般ノ處理ハ嚴ニ敵國占領ノ精神ヨリ脫却シ將來ノ長計ヲ考慮シ地方固有ノ社會組織竝習俗ハ成ルヘク之ヲ存置善導スルコトニ努メ且軍隊對住民ノ關係ハ特ニ之ヲ圓滑ニ調整スルモノトス

二、作戰地後方地域ノ政治機關ハ住民ノ自主的發生ニ基クモノトシ其機構運營亦住民ノ積極的參賛ニ據ルモノトス

冀東政權ハ特ニ其內部ヲ刷新合理化スルモノトス

三、前項地域ノ經濟開發ハ差當リ冀東地區ヲ主トシ冀東政權ヲ內面的ニ指導シテ之ヲ行フ

而シテ經濟開發實施ノ爲ニハ成ルヘク興中公司ヲシテ直接實行若ハ調整ニ當ラシムルモノトス

經濟開發ニ關スル具體的事項ハ別ニ連絡ス

四、現地ノ明朗化ヲ妨害スル不良分子（浮浪人排日及共產分子等）

0063

REEL No. A-0211

0039

アジア歴史資料センター

ハ何レノ國籍人タルヲ問ハス之カ徹底的整理ノ手段ヲ講シ速ニ之ヲ實施スルモノトス

之カ實施ハ軍內諸機關、外務官憲及支那側機關相互ノ協力ニ依ル

五、住民ノ爲文化的諸施設就中保健醫療施設ノ普及ニ關シ所要ノ措置ヲ講スルモノトス

(0064

獨逸政府ヲ仲介トスル日支和平交渉經緯（昭和十三年一月二十日）

一、獨逸側ハ嘗テヨリ日支間ニ和平交渉ノ餘地アリヤニ付双方ニ對シ探リヲ入レ居タルカ遂ニ客年十二月初旬在京獨逸大使ヨリ國民政府ニ於テハ日本側ト講和ノ意向アル趣ヲ以テ日支兩國ノ間ニ話合ノ橋渡シヲナスヘキ旨申出アリタルヲ以テ帝國政府ニ於テハ講和條件ニ付愼重考慮ヲ加ヘタル上客年十二月二十二日在京獨逸大使ニ對シ帝國ノ講和ノ基礎條件トシテ左記四條件ヲ提示シテ其ノ內容ヲ說明シ支那側ニ於テ右ヲ總括的ニ承認シ帝國政府ニ和ヲ乞フノ態度ヲ表示シ來ルニ於テハ帝國政府ニ於テモ日支直接交渉開始ノ用意アリ本年一月五、六日迄ニハ支那側ヨリ回答ヲ期待スル旨ヲ告ケ國民政府ニ其ノ傳達ヲ求メタリ

記

一、支那ハ容共抗日滿政策ヲ放棄シ日滿兩國ノ防共政策ニ協力スルコト

二、所要地域ニ非武裝地帶ヲ設ケ且該地方ニ特殊ノ機構ヲ設定スルコト

三、日滿支三國間ニ密接ナル經濟協定ヲ締結スルコト

四、支那ハ帝國ニ對シ所要ノ賠償ヲナスコト

二、前記帝國政府ノ講和基礎條件ハ客年十二月二十六日在支獨逸大使ヨリ國民政府當局ニ傳達セラレタルカ豫定期日ヲ過クルモ容

(0065

REEL No. A-0211

0040

アジア歴史資料センター

易ニ同答ニ接セス我方ヨリ獨逸側ヲ通シ數次督促セル處本年一月十三日國民政府外交部長ヨリ在支獨逸大使ニ對シ前記帝國政府ノ要求條件ハ範圍廣汎ニ過クルヲ以テ支那側ニ於テ最後的決定ニ達センカ爲更ニ詳細ナル内容ヲ承知シ度キ旨通報アリタリ

トテ翌一月十四日在京獨逸大使ヨリ右ノ次第我方ニ傳達セリ

然ルニ前記帝國政府ハ客年十二月二十二日以後數次ニ亘リ相當詳シク獨逸側ニ内示説明シアリ國民政府ニ於テモ獨逸側ヲ通シ充分之ヲ承知シ居ルモノト認メラレ旁々前記支那側同答ハ曖昧和ニ付何等誠意ナク單ニ遷延策ヲ講セントスル趣旨ト認メラレタルヲ以テ帝國政府ニ於テハ本月十五日ニトテ今後ハ國民政府ヲ對手トスル事變解決ニ期待ヲ懸ケス新興支那政權ノ成立發展ヲ助長シ之ト國交ヲ調整シ更生新支那ノ建設ニ協力スルコトニ朝議決定シ十六日右趣旨ヲ中外ニ聲明スルト共ニ在京獨逸大使ニ對シ帝國政府ニ於テハ支那側ノ誠意ナキ態度ニ鑑ミ日支和平交渉ヲ打切ルヘキ旨ヲ通告シ併セテ獨逸側從來ノ好意的斡旋ニ謝意ヲ表スル所アリタリ

三、尚以上ノ經緯ニヨリ爾後帝國政府ハ國民政府ヲ對手トセサルコトヲ切同政府ヲ對手トスル處右ハ事實上今後ハ日支兩國間ノ問題ニ就テハ一切ノ交渉ヲナサス帝國ハ全然帝國獨自ノ立場ニ於テ事態ニ對處セントスルノ趣旨ニシテ所謂國交ノ斷絶若ハ

國民政府ノ否認トモ其ノ趣ヲ異ニスル事實上ノ關係ニ屬スル次第ナルカ別紙第二號參照ノ右帝國ノ態度決定ニ伴フ在本邦支那側外交及領事機關並在留華僑ノ取扱振等ニ付テハ既ニ別紙第一號ノ通之カ處理方針決定ノ上内務大臣宛通報濟ニ付右ニヨリ善處セラレンコトヲ希望ス

REEL No. A-0211
0041
アジア歴史資料センター

別紙第一號

在本邦支那外交機關及華僑處理方針

一 在本邦支那外交機關

外務省ヨリ情況ヲ見テ在本邦支那大使以下ノ外交官及領事館員全部ノ本邦引揚ヲ勧告ス

但シ其ノ場合ト雖モ

(イ) 引揚後ハ外交官及領事官ノ特權ヲ認メ其ノ身体財産ニ付テハ充分ノ保護ヲナスモノトス

(ロ) 大使館及領事館ノ建物ハ支那新政權ヲ帝國政府ニ於テ承認シ右政權ニ於テ之ヲ接收スル迄ハ我方官憲ニ於テ立入ルコトナク之ヲ保護スルモノトス

(ハ) 我方引揚ノ勧告ニ拘ラス引揚ヲ實行ヤサル場合ニ於テモ之ヲ保護スルコト從前ノ通トシ大使館及領事館ニハ帝國官憲ニ於テ無斷侵入シ若シクハ館員ヲ逮捕スルカ如キコトナシ

但シ衣食住以外ノ問題即チ公用ニテ帝國官憲ト接觸スルコト

(ニ) 帝國カ新政權ヲ承認シタル場合ニ於テハ南京政府ノ任命ヤルヤシムルモノトス

外交官及領事官ヲ一切退去ヤシムルモノトス

其ノ他ニ於テ支那新政權ノ領事官タル建前ヲ執ルモノニ對シ

(ホ) 朝鮮

ハ之ヲ領事官トシテ取扱ハサルモノトス

二 華僑

(イ) 殘留華僑ニ對シテハ充分之ヲ保護ス

(ロ) 華僑ノ新政權ヘノ參加問題ニ關シテハ帝國官憲ニ於テ之ニ關與ヤサルモノトス

REEL No. A-0211

0042

アジア歴史資料センター

別紙第二號

南京政府ヲ相手トセストノ聲明ノ法律上ノ性質（未定稿）

カルノモ承認ニ進ムヲ以テ新政權ノ樹立及之ニ伴フ各國ノ承認ニ關シ南京政府ヲ無視セントスルモ事實上ハ南京政府ノ法律的性質ハ必スシモ明確ナリト言フコトヲ得サルモ

(一)サルノモ之ニ結果トシテ南京政府ノ否認ト相俟テ南京政府ノ法律的性質ニ基キ其ノ殷賑ノ復雜ナル情勢ニ即シ政治的考慮ヲ加ヘタル上ノ結果ニ外ナラス

(二)南京政府ヲ相手トセサルノ聲明ハ一方ニ於テ新政權ノ樹立及之ニ伴フ各國ノ承認ニ關シ南京政府ヲ無視セントスルノ意思ヲ基調トスルモノニシテ必スシモ通常ノ國交斷絶ト同一視シ得サルヘキナリ。

帝國政府カ正式ニ承認シタル後ニ非レハ之ヲ行フコトヲ法律上妥當ナリト認ムルカコトハ新政權ノ樹立ニ伴フ各國ノ承認ニ關シ南京政府ヲ相手トスルコトヲ以テ法律上ハ南京政府ノ否認ナリト言フコトヲ得ル以上南京政府ノ組織權限ノ如キ事實上ハ南京政府ノ否認ニ類スルモノニ外ナラス

中華民國ノ國家トシテ承認セラルルモ南京政府ノ否認スルトハ別ニ之ヲ以テ國交斷絶又ハ外交關係ノ斷絶ト必スシモ同一視シ得サル理由ハ南京政府ノ主タルモノ左ノ如シ。

(イ)南京政府ヲ無視セントスルコトハ開戰ニ依ルヘキ例ニシテ斷絶ハ相手國政府ノ責格ノ承認ヲ前提トスルコト勿論ニシテ相手國政府ノ責格ノ場合ニ於テモ相手國交斷絶ノ意思ヲ基調トスルモノニシテ相手方ト認メサルノ意思即チ事實上ノ否認ニ反シ今次聲明ハ南京政府ノ否認ニ類スルモノナルヲ以テ必スシモ通常ノ國交斷絶ト同一視シ得サルヘキナリ。

(ロ)法律上ノ效果ハ外交關係ノ斷絶又ハ外交斷絶ノ場合通常其ノ當然ノ法律上ノ效果トシテ外交使節ノ召還外國使節ノ退去要求等ノ問題ヲ生スルニ反シ今次ノ場合ハ南京政府ヲ相手トセサル意思ニ基キ使節ノ召還又ハ外交關係ノ斷絶ヲ先ツ行ヒ其ノ結果トシテ事實上國交斷絶又ハ外交關係ノ斷絶ノ事態ヲ生スルモノ

1 國交斷絶又ハ外交關係ノ斷絶ト必スシモ同一視シ得サル理由右理由ノ主タルモノ左ノ如シ。

(イ)南京政府ヲ無視セントスルコトハ開戰ニ依ルヘキ例ニシテ斷絶ハ相手國政府ノ責格ノ承認ヲ前提トスルコト勿論ニシテ相手國政府ノ責格ノ場合ニ於テモ相手國交斷絶ノ意思ヲ基調トスルモノニシテ相手方ト認メサルノ意思即チ事實上ノ否認ニ反シ今次聲明ハ南京政府ノ否認ニ類スルモノナルヲ以テ必スシモ通常ノ國交斷絶ト同一視シ得サルヘキナリ。

(ロ)法律上ノ效果ハ外交關係ノ斷絶又ハ外交斷絶ノ場合通常其ノ當然ノ法律上ノ效果トシテ外交使節ノ召還外國使節ノ退去要求等ノ問題ヲ生スルニ反シ今次ノ場合ハ南京政府ヲ相手トセサル意思ニ基キ使節ノ召還又ハ外交關係ノ斷絶ノ事態ヲ生スルモノ

(ハ)形式上ノ相違ナリ。

シテ事實上國交斷絶又ハ外交關係ノ斷絶ノ通常ノ國交斷絶ノ形式ナルモノ

ルモノ

ルモノ

2

(ハ)右勧告ニ從ハス退去ヲ肯ンセサル場合ニモ之ニ從前通ノ保護ヲ與ヘ(ニ)領事官ニ付テモ同樣ノ待遇ヲ與フルコトノ諸點ノ如キハ之ナリ。

大体前述ノ如キ諸點ニ付キ今次ノ聲明ハ國交斷絶又ハ外交關係ノ斷絶ト必スシモ同一視シ得サルモノアルモ兩國間ノ紛爭ニ基キ兩國使節ノ召還及退去、之ニ伴ヒ外交上ノ關係ノ斷絶セラルル事態ヲ生スルモノナルヲ以テ事實上國交斷絶又ハ外交關係ノ斷絶ニ近似スルモノト言フコトヲ得ヘシ。

北支及中支政權關係調整要領

（昭和十三年四月十六日閣議決定）

第一 方針

中支新政權ハ一地方政權トシテ之ヲ成立セシメ中華民國臨時政府ヲ中央政府トシテ成ルヘク速カニ之ニ合併統一セシム

第二 要領

一、中支新政權ハ其成立宣言ニ所要ノ修正（北支及中支兩政權當時者ノ協議セルモノニ據ル）ヲ行ヒ之ヲ成立セシム

二、中支新政權ハ成ルヘク速カニ之ヲ中華民國臨時政府ニ合併統一セシム

是ガ爲中支新政權機構組織ハ前項ノ合併統一ニ支障ヲ來サザル様具現セシメ又中支ニ於ケル海關、鹽務局（共ニ主要人事ヲ含ム）等ニ對スル措置ハ合併前ニ於テモ地方的情勢ヲ考慮ノ上中華民國臨時政府ノ統制ノ下ニ之ヲ行ハシム

三、兩政權合併ノ爲遠カニ双方ノ支那側代表ヲ集メ協議會ヲ開カシム

四、軍事、外交、財政、金融、經濟、交通、通信、郵務、文化及思想等ニ關シテハ北支中支間ニ矛盾ナカラシム様指導ス

REEL No. A-0211
0044
アジア歴史資料センター

北支及中支政權關係調整案ニ關スル諒解事項

一、第一、方針中ニ所謂中華民國臨時政府ヲ中央政府トスルノ譯ハ支那ニ於ケル各地政權ニ指導上ノ原則トシテ規定セルモノニシテ帝國カ之ヲ支那ノ中央政府トシテ承認スル問題ニ關シテハ別個ノ考慮ニ依リ決定スヘキモノトス

二、第二要領ノ二前段北支臨時政府ニ合併統一ノ場合ニ於ケル首都ノ選定ハ專ラ支那側ノ考慮ニ委スルモノトス

三、中支ノ通貨及金融ニ付テハ北支ト統一的ニ處置スヘキコトヲ根本方針トスルモ之ヲ直チニ實行スルコトナク中支金融ノ複雜性ニ顧ミ今後充分ニ實情ヲ見究メタル上適當ノ時期ニ於テ行フモノトス

從ツテ例ヘハ中國聯合準備銀行券ヲ中支ニ流通セシムヘキヤ或ハ先以テ中支ニ於ケル通貨ヲ整理シ然ル後北支及中支ノ通貨政策ノ調整ヲ圖ルヤ等ノ問題ハ今後充分考究ノ上之ヲ決定スルモ

帝國政府聲明

（昭和十三年六月二十三日）

支那事變ハ徐州陷落ニヨリ戰局ノ一大進展ヲ見タルモソノ前途ハ尚遼遠ナリ、第三國ノ支援ヲ頼ミ長期抵抗ヲ標榜スル國民政府ノ徹底的潰滅ノタメ兵力ハ逐次增強セラレ今ヤ我國有史以來ノ大軍ハ陸海空ニ奮戰ヲ重ネツツアリコノ時ニ當リ銃後施設ニヨリ作戰行動ニ支障ナカラシメ以テ帝國所期ノ目的ヲ達成セシメ東洋永遠ノ平和ヲ確立セントスルニハ刻下凡百ノ施設ヲ戰爭目的貫徹ニ集中シ官民一體制ヲ確立シ以テ時局ニ對處セザルベカラズ、コレガタメ當面ノ急務ハ物資ノ調整運用ヲ最モ有效適切ナラシムルニアリ、即チ萬難ヲ排シ輸出ノ振興、生產ノ增加、配給、消費ノ統制ニ關スル政策ノ徹底强化ヲハカルノ要益々緊切ナリトス、茲ニオイテ政府ハ新事態ニ即應シ軍需品及ビ輸出原料充足ヲ優先トスル物資需給ノ計畫ヲ樹テコレガ遂行上緊要ト認ムル左記ノ諸方策ノ徹底的實行ヲ期シ以テ國防ノ安固、國民經濟ノ維持ヲハカルコトニ決セリ

一、爲替相場ソ堅持、軍需資材ノ供給確保、輸出ノ振興及ビ國民生活維持ノタメ現在以上ノ物價騰貴ヲ抑制スルニ必要ナル措置ヲ講ズルト共ニ基準價格又ハ公定價格ノ設定等ノ外、消費節約及ビ配給統制ヲ徹化シ物價ノ引下ゲヲ行フ

二、一般物資ニツキ極力消費節約ヲハカルコト特ニ輸入物資ニツイ

REEL No. A-0211
0045
アジア歴史資料センター

テハ必要ニ應ジ使用制限乃至禁止、代用品使用強制等ノ方法ニヨリ國内不急用途ニ對スル物資ノ消費節約ヲ徹底強化スルコト

三、輸出增進ノタメ綜合計畫ノ下ニコレガ一般的促進策ヲ強化スルコト

(イ)製品ノ輸出ト原料材料ノ輸入トヲ「リンク」セシムル等ノ方法ニヨリ輸出用原料材料ニツキコレヲ國内消費用ト輸出用トニ區別シ輸

(ロ)輸入原料材料ノ輸入ヲ確保スルコト

四、主要物資ニツキ輸入及ビ配給ノ適正圓滑ヲハカルタメ配給制度

五、貯蓄ノ普及徹底ヲハカルコト

六、官民一體簡素ナル非常時國民生活樣式ノ確立ニ努ムルコト

七、主要物資ノ增産殊ニ鑛産ノ增加ニツキ徹底的措置ヲ講ズルコト

八、軍需工業能力增進ノタメ交替制ノ採用及ビ勞務者ノ急速充足ニ

九、廢品回收ノタメ從來ノ藥者ノ外各種團體ノ協力ヲ求メテソノ組織化ヲハカルコト

十、轉業及ビコレニ伴フ失業者救濟ノタメ必要ナル方策ヲ講ズルコト

0076

今後ノ支那事變指導方針

（昭和十三年六月二十四日五相會議決定）

一、支那事變ハ直接解決ニ國力ヲ集中指向シ概ネ本年中ニ戰爭目的ヲ達成スルコトヲ前提トシ内外諸般ノ施策ヲシテ總テ之ニ即應セシム

二、第三國ノ友好的橋渡シハ條件次第ニテ之ヲ受諾スルヲ妨ケス

0077

REEL No. A-0211

0046

アジア歴史資料センター